

～健康でかがやく子～

学校教育目標	○ 自ら学ぶ子 (知)      ○ 豊かであたたかい心をもつ子 (徳)      ○ 健やかに成長する子 (体) ○ 共に生きる子 (公)      ○ 広い視野のもてる子 (開)					
	学校概要	創立 52 周年	学校長 荒井 健	副校長 井上 和浩	2 学期制	一般学級: 18 個別支援学級: 3
児童生徒数: 630 人		主な関係校: 篠原中学校・六角橋中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	篠原中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<問題発見・解決能力> ・協働的に課題解決に取り組む姿勢等 <心身ともにたくましく生きる力> ・健康な生活を実践する態度等 <自分づくりに関する力> ・地域を愛する気持ち、自己肯定感等	篠原中学校 篠原小学校 港北小学校	○自己肯定感をもち、未知のことへ主体的にかかわる子ども ○他者への感謝の気持ちが育ち、自らも社会貢献する子ども ・ブロックでの公開授業研を通して、教育課程や指導内容の見直しを図ることで、小中連携の一層の充実を図る。 ・中学生の地域への参画状況を紹介し、地域への参加意識・参画意識を高める。 ・篠原中学校生徒との交流を通して、中学生への尊敬や感謝の気持ちを育てる。

中期取組目標	○ 豊かな学びの環境づくりと授業の充実への取組を組織的に進め、子どものよりよい成長を実現していきます。 ○ 一人ひとりの気持ちに寄り添うとともに、「共有体験」を大切にされた教育活動を展開することで、子ども一人ひとりが安心して豊かに学校生活を送ることができるようにします。 ○ 「健康貯金ファイル」などの健康教育の推進を通して、自らの健康の保持増進を図ることができるようにします。 ○ 地域と連携した教育活動を通してまちを愛する心を育てるとともに、将来自らも社会貢献していこうとする意識を育みます。
--------	---

重点取組分野	具体的取組
<b>豊かな心</b> 担当 人権・児童指導部	①全校たてわり遠足やたてわり集会、たてわり給食等の充実を通して、異年齢同士のつながりを豊かにする。毎朝の登校班での交流を通じた育ちの意義を再確認する。②積極的な声かけにより、あいさつの日常化を引き続き図る。③「共有体験」を大切にされた教育活動を展開し、自尊感情をより高める。
<b>健やかな体</b> 担当 保健安全部	①感染防止と心のケアに努める。②「健康貯金ファイル」を通じた取組を継続し様々なテーマでの保健指導を行う。③縄跳び集会やふれあい集会等の機会を生かし体力づくりに取り組む。④保護者と連携し健康な生活について考えていく機会をもつ。⑤栄養職員を中心に食に関する指導を充実させる。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援委員会	①学生ボランティアの依頼等を通して、限られた人員の中でのサポート体制の維持・継続を図る。②研修を充実し、特別支援教育への視野をさらに広げ、日常の指導に生かせるようにする。③ユニバーサルデザイン教育の理解を深め、教室環境の改善を継続して行う。④視聴覚機器の活用を図る。
<b>生きてはたらく知</b> 担当 学校運営部	①教育課程の再編成により、今年度内に身に付けることが求められる学習内容を着実に定着させる。②多くの教員が関わる授業形態を、学年の実態に応じ、効果的に取り入れていくことで基礎・基本の定着を図っていく。③授業力と学級経営力を高め、児童の自己表現力を育成する。
<b>児童生徒指導</b> 担当 人権・児童指導部	①「西小ルールブック」の確認と見直しを随時行い適切な指導につなげる。②学年研や毎月の職員会議で児童理解に関する情報共有の場を設定し、指導内容や対応方法の共通理解を図る。③日常観察やいじめ調査、保護者との連携を通して児童の状況を的確に把握し組織的に素早く支援していく。
<b>地域連携</b> 担当 特別委員会	①感染防止に向け、限定された地域・PTA活動への、効果的な関わり方を考え、子どものよりよい成長につなげる。②地域コーディネーターとの連携をより深める。「ポプラ隊」を中心とした教育ボランティアへ、各学年担任のニーズに応じた協力依頼を積極的に行い、教育活動のさらなる充実を図る。
<b>公共心と社会参画</b> 担当 特別委員会	①地域行事・登下校だけでなく全校遠足や社会科見学、校外学習など多くの場面で自分たちを支えている人々に対し感謝の気持ちを自然にもてるように心をたがやす。②地域行事に積極的に参加し、地域の人とのふれあいを通して思いや願いを知り、よりよい生き方につなげる。
<b>教育環境整備 (図書)の整備</b> 担当 図書部	①学校司書・図書ボランティアの方々と連携し、図書館環境・読書環境のさらなる整備を進め、児童の読書への意欲を高める。また、学習指導要領の改訂に伴い、必要となった平行読書や資料を揃えていく。②図書館だより等、図書館からの発信をさらに充実し、校内、家庭での読書推奨につなげる。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①いじめに関するアンケートやYPアセスメントを効果的に活用する。②「特別の教科道徳」において、自己を見つめ、より多角的・多面的にとらえ、自らの考えを深める力を育む学習を行う。③人権研修の充実により、教職員の人権感覚・人権意識を高め、児童の人権感覚・人権意識の向上につなげる。
<b>人材育成・組織運営 (働き方改革)</b> 担当 教務部	①重点研究と、メンターチーム研修を両立させ、学年、ブロックを中心とした授業力向上と人材育成につなげる。②学年主任会で、各学年の課題解決の方策をとともに探ることを通して、人材育成と個人への負担軽減を図る。③教育ボランティアへの協力依頼、専門業務の業者委託、会議の精選と効率化、電子申請システムの活用等を進め、教職員の過負担軽減につなげる。